

がん年報 2016年

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター



Oita Medical Center

基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

巻 頭 言

大分医療センター
院長 穴井 秀明



この度、2016年（平成28年）の大分医療センターにおけるがん診療関係の全ての実績を「がん年報」として、まとめたものが完成しました。今後、毎年この「がん年報」を報告させていただきます。

当院は2011年10月より大分県がん診療連携協力病院の指定を受けました。厚生労働省が認定するがん診療連携拠点病院と全く同じ指定要件（診療体制、研修体制、情報提供体制など）を備えています。しかし、大分県の二次医療圏（当院は中部医療圏に属す）に複数のがん診療連携拠点病院は認められないということで、大分県のがん診療連携協力病院の指定となりました。残念な事に、大分県のがん診療連携協力病院には県からも国からも一切補助金はいただいていません。すべてを自院で賄っています。それにもかかわらず、職員は患者さんのために一生懸命に職務を遂行しています。その成果をこの一冊にまとめましたので、ご高覧下さい。

2011年症例から院内がん登録を開始し、2016年からは全国がん登録にも参加しています。当院の得意分野である主要5大がん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝がん）+前立腺がんに関しましては治療内容を詳しく分析し、報告しています。それにごがん関連各診療チームの活動内容や業績報告もまとめています。大分県東部地区の「がんセンター」として地域の医療に貢献していきたいと思っています。

当院の基本理念「愛の心・手」で病める人々に寄りそう医療”を地域に根ざすように最良の形で提供させていただきます。

最後になりましたが、「がん年報」創刊号の作成に関係されました全ての職員の皆様に感謝申し上げます。

2018年2月

目 次

1. 2016 年がん治療実績 (主要5大がん + 前立腺がんの治療 (2016 年 1 月～ 12 月実績))	
胃がん治療	1
大腸がん治療	2
肝がん治療	3
肺がん治療	4
乳がん治療	5
前立腺がん治療	6
2. 院内がん登録 2016 年症例報告	
①院内がん登録 登録件数	7
②部位別件数	8
③年齢階層別件数	8
④性別件数	9
⑤主要 5 部位 + 前立腺 治療前ステージ別件数	9
⑥診断時住所	9
3. 部門別活動報告	
①放射線治療部門	10
②化学療法センター	12
③がん化学療法薬剤部	13
④緩和ケアチーム活動	14
⑤がん患者リハビリテーション	16
⑥がん相談支援センター、がんサロン、がん川柳	17
⑦市民公開講座	18
4. 当院で治療を行っているがんの種類	19
5. がん関連資格取得者 (2018 年 1 月現在)	20
6. がん関連発表	23

1

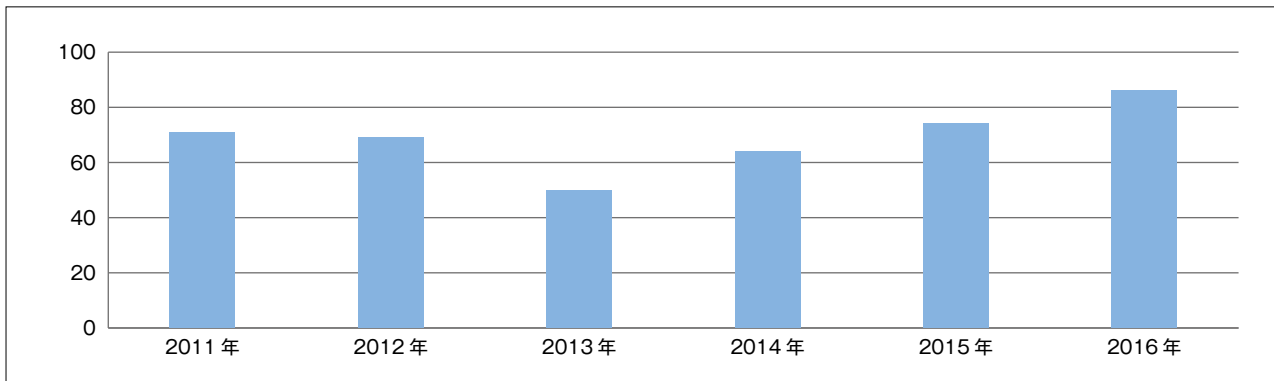
2016年がん治療実績

(主要5大がん + 前立腺がんの治療 (2016年1月~12月実績))

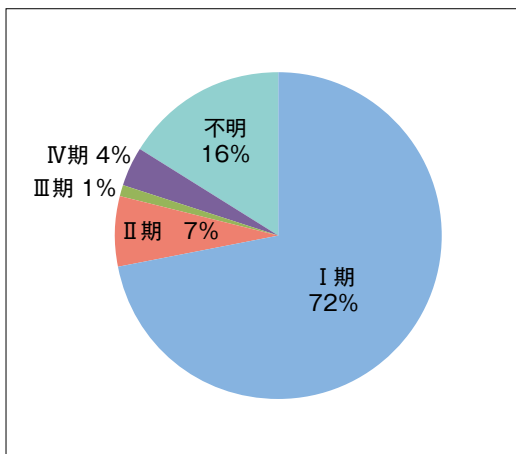


胃がん治療

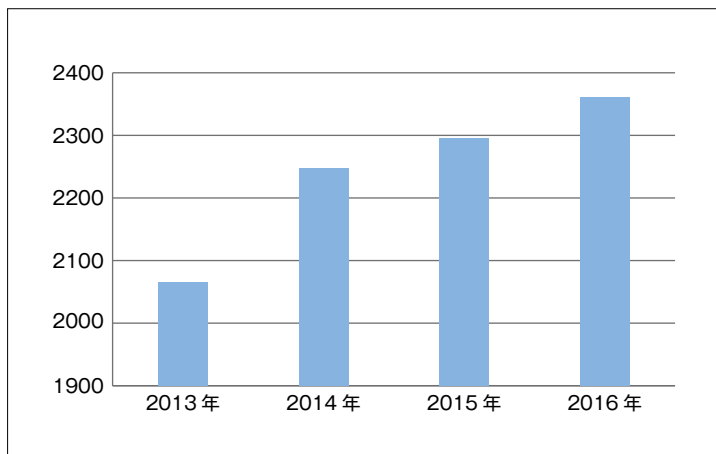
① 胃がん初回診断・治療件数



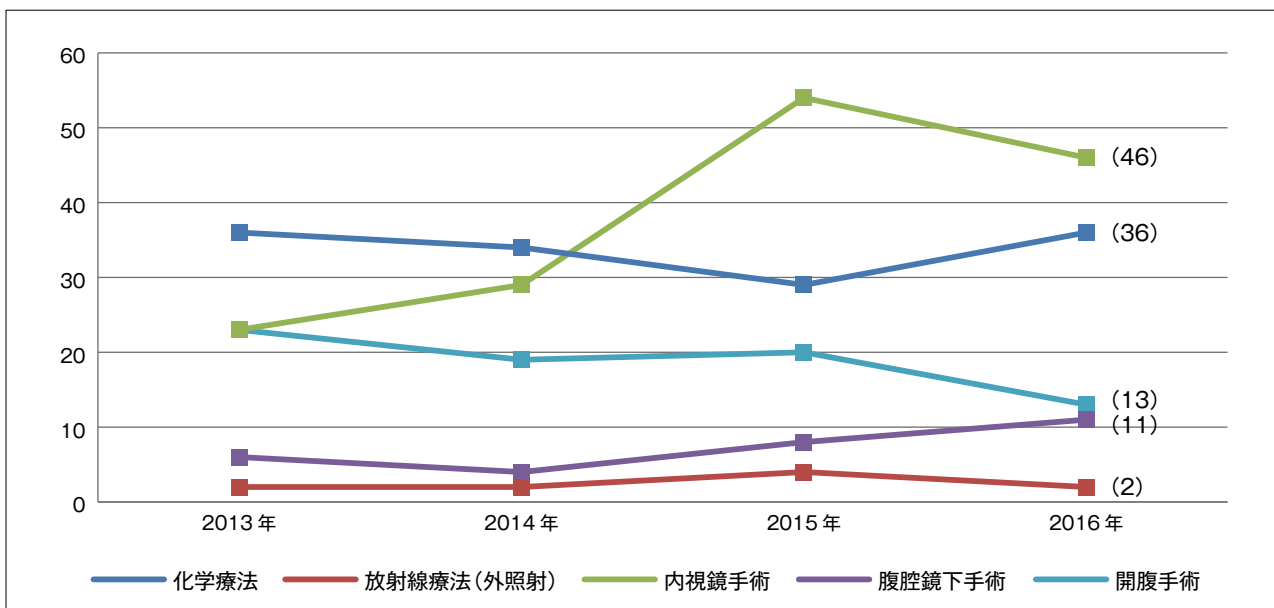
② 2016年症例治療前ステージ別割合



③ 胃内視鏡検査件数

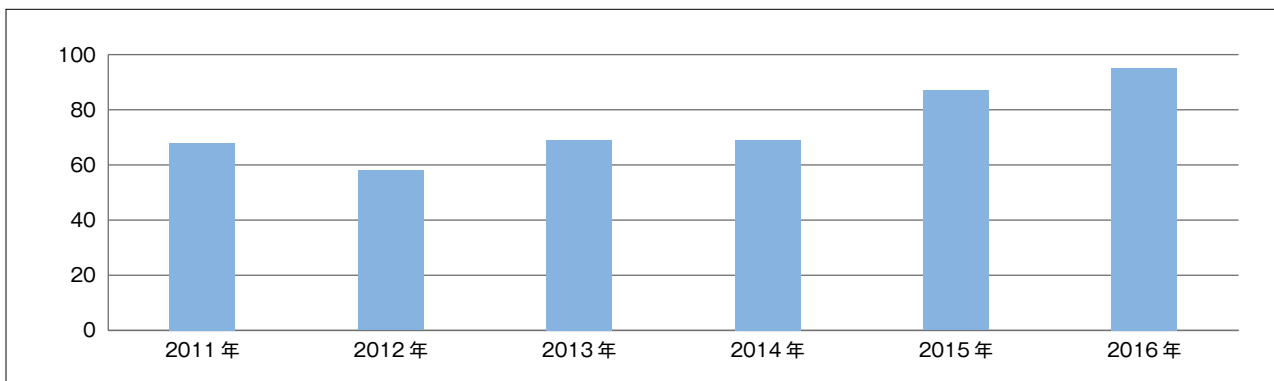


④ 治療件数 (重複含む)

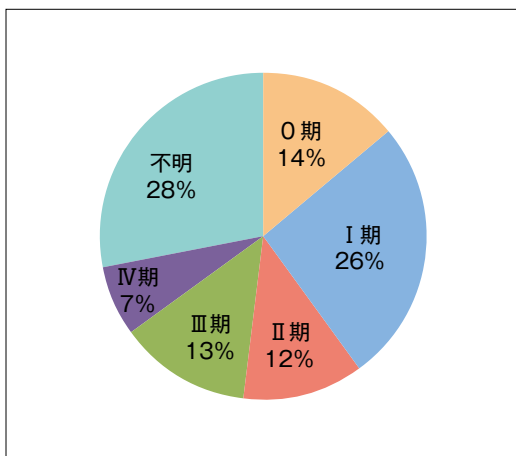


大腸がん治療

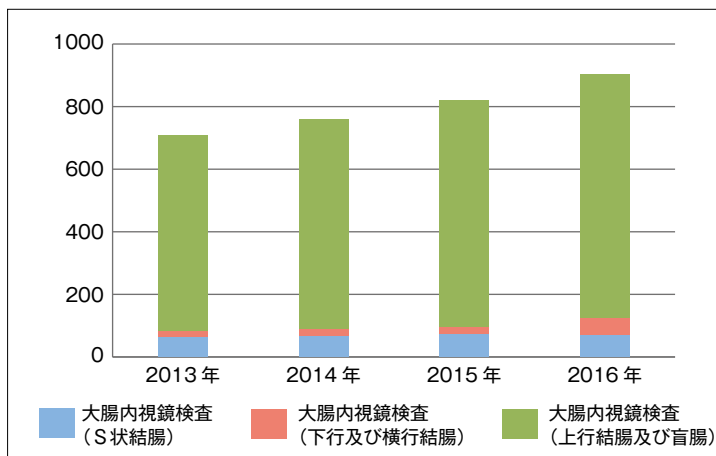
① 大腸がん初回診断・治療件数



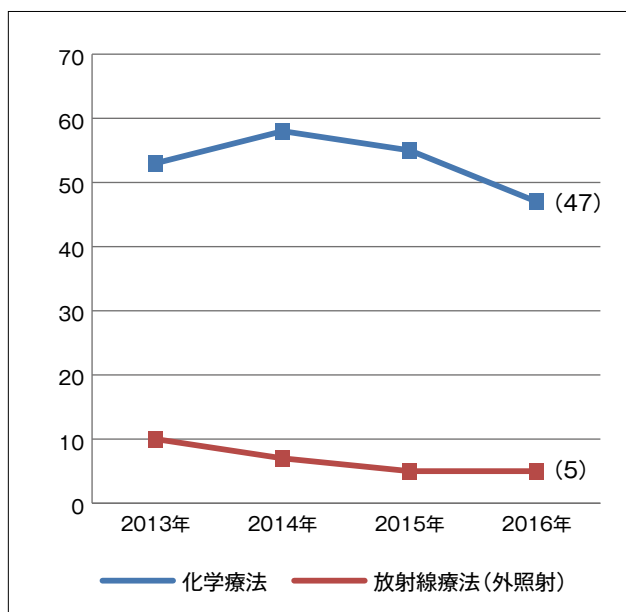
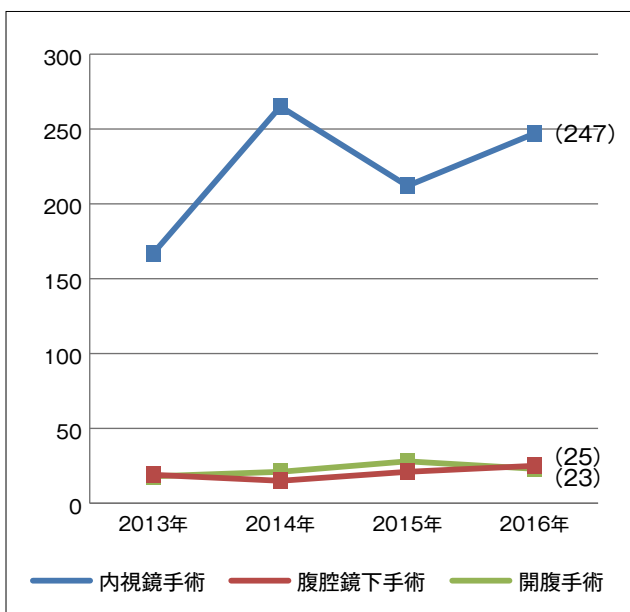
② 2016年症例治療前ステージ別割合



③ 大腸内視鏡検査件数

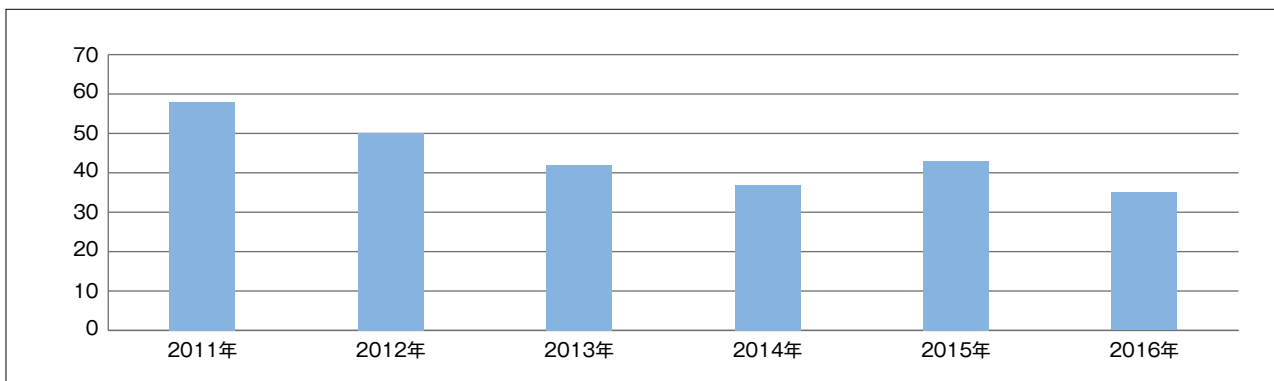


④ 治療件数 (重複含む)

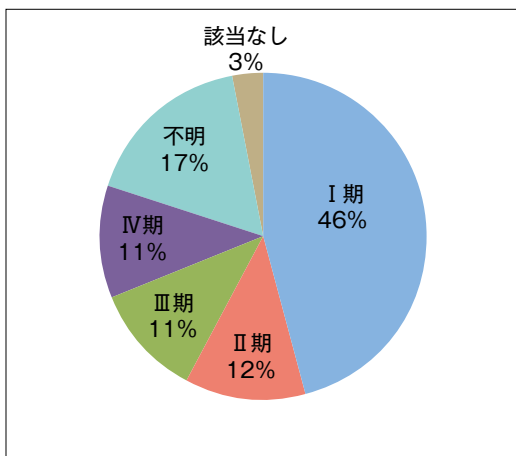


肝がん治療

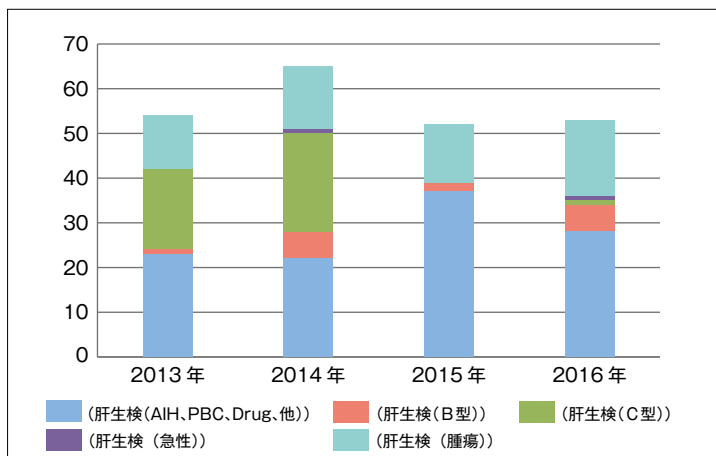
① 肝がん初回診断・治療件数



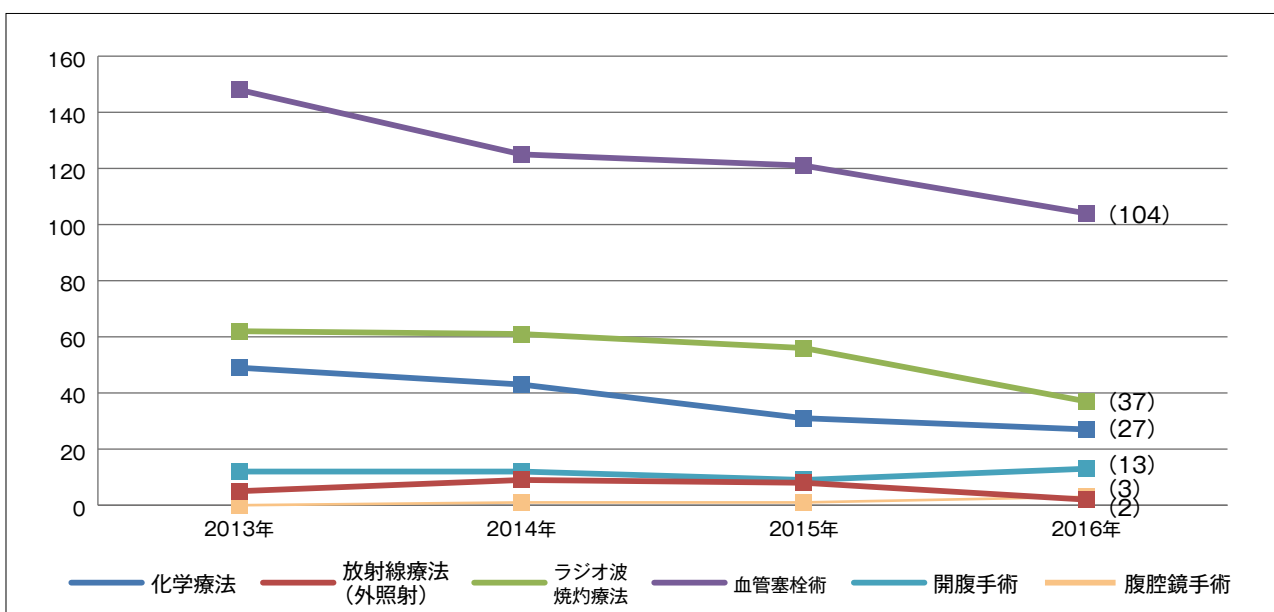
② 2016年症例治療前ステージ別割合



③ 肝生検件数

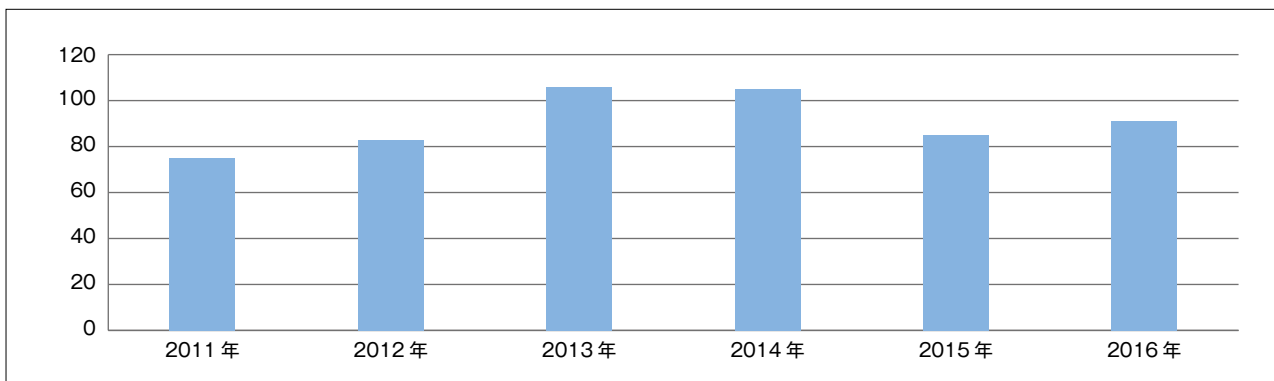


④ 治療件数 (重複含む)

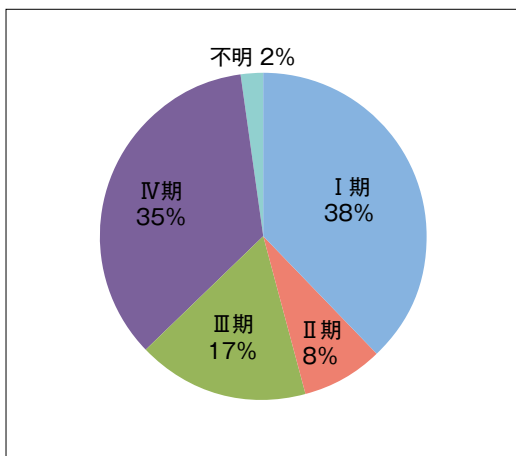


肺がん治療

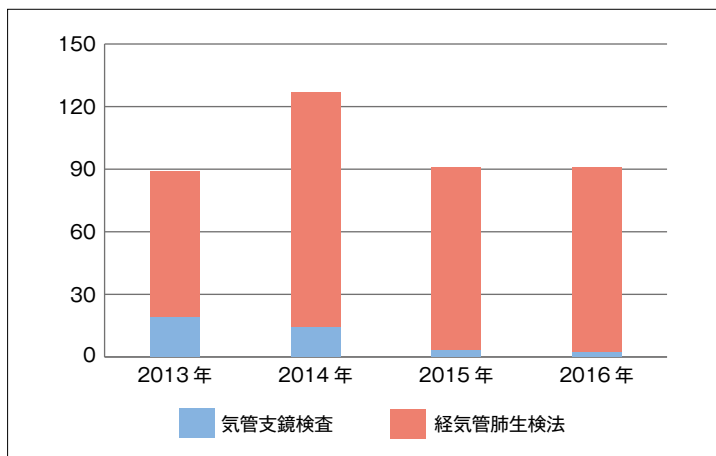
① 肺がん初回診断・治療件数



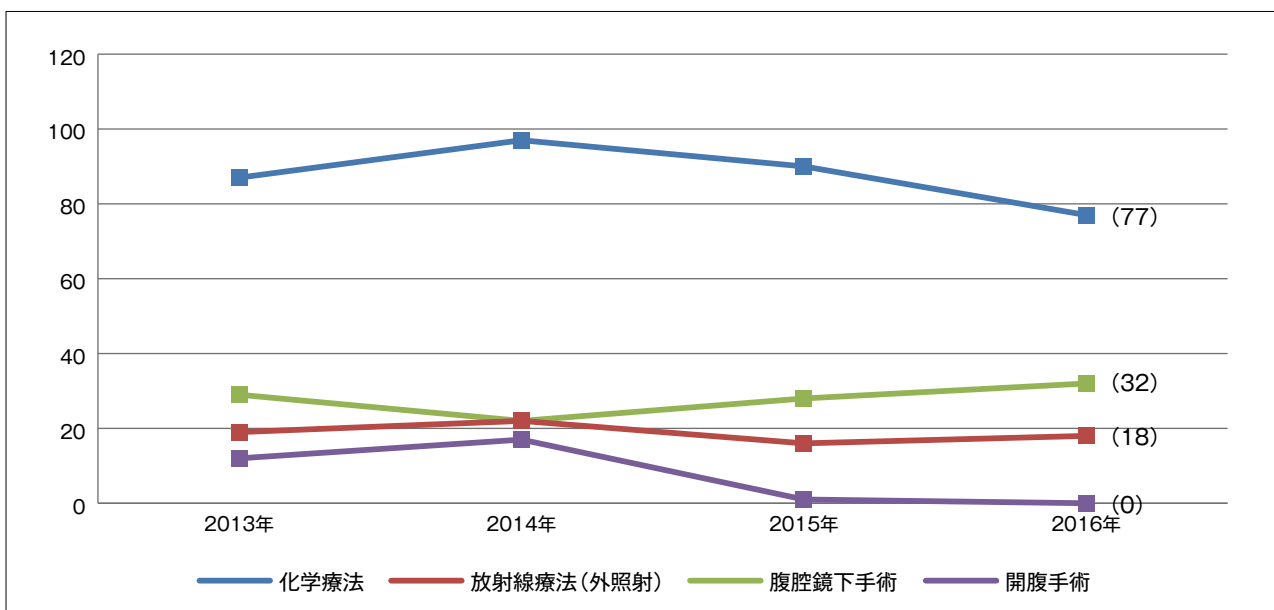
② 2016年症例治療前ステージ別割合



③ 気管支鏡検査・肺生検件数

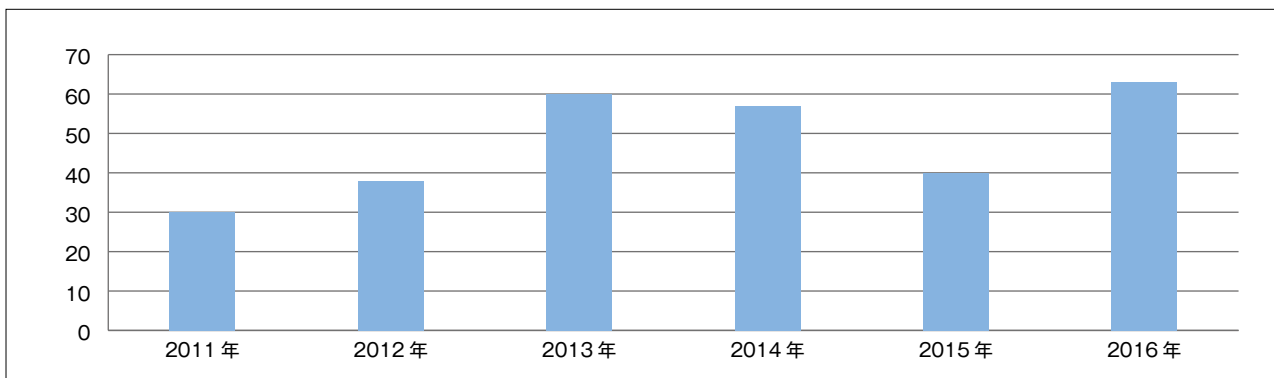


④ 治療件数（重複含む）

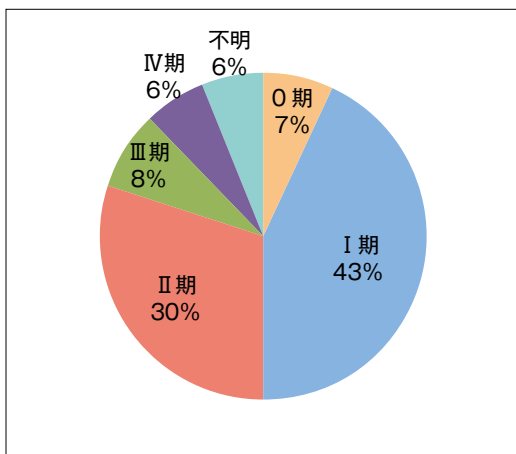


乳がん治療

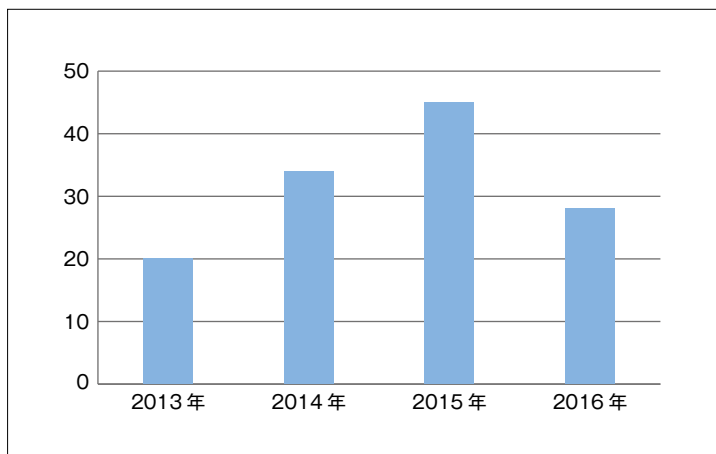
① 乳がん初回診断・治療件数



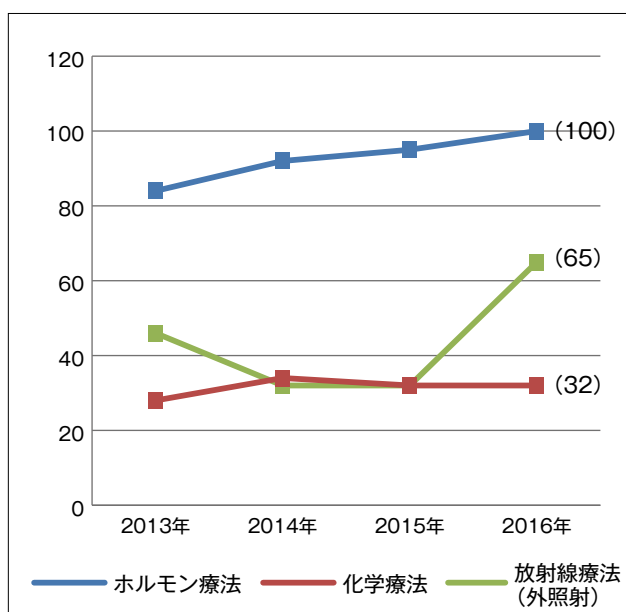
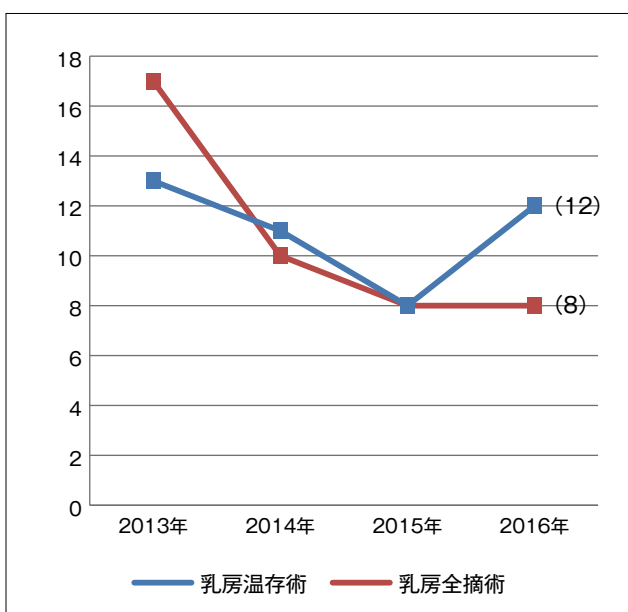
② 2016年症例治療前ステージ別割合



③ 乳腺穿刺又は針生検件数

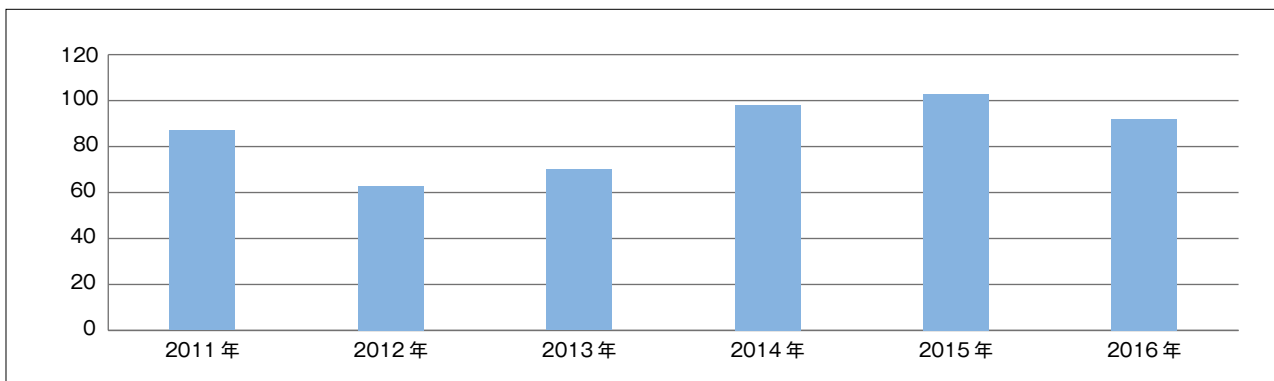


④ 治療件数（重複含む）

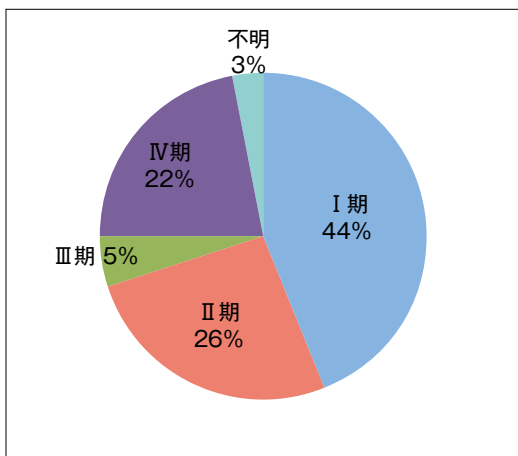


前立腺がん治療

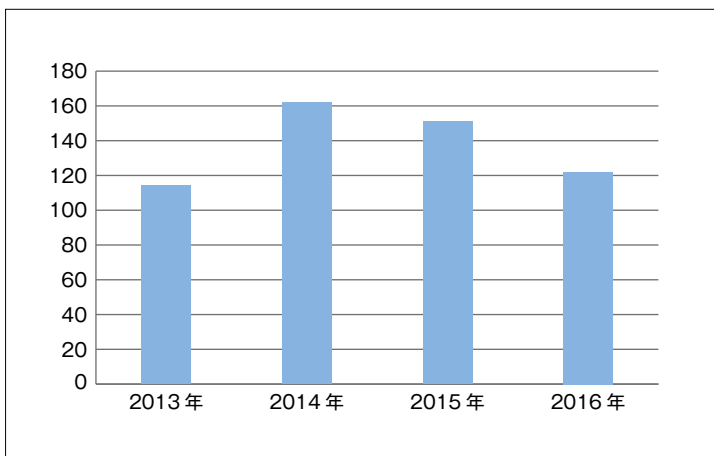
① 前立腺がん初回診断・治療件数



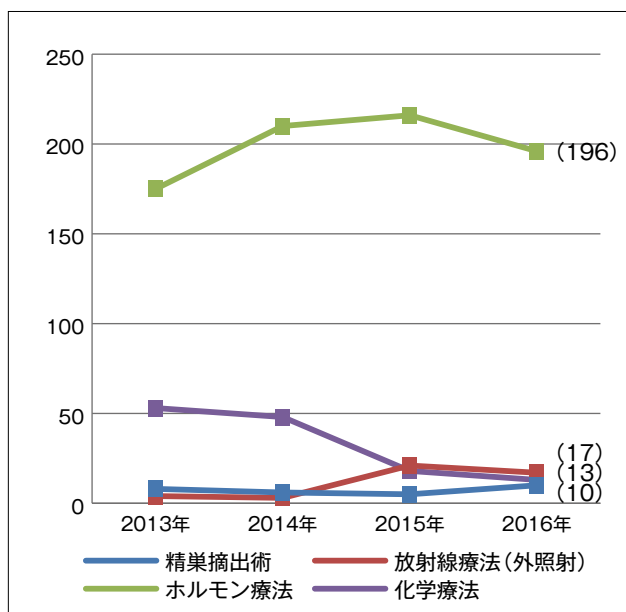
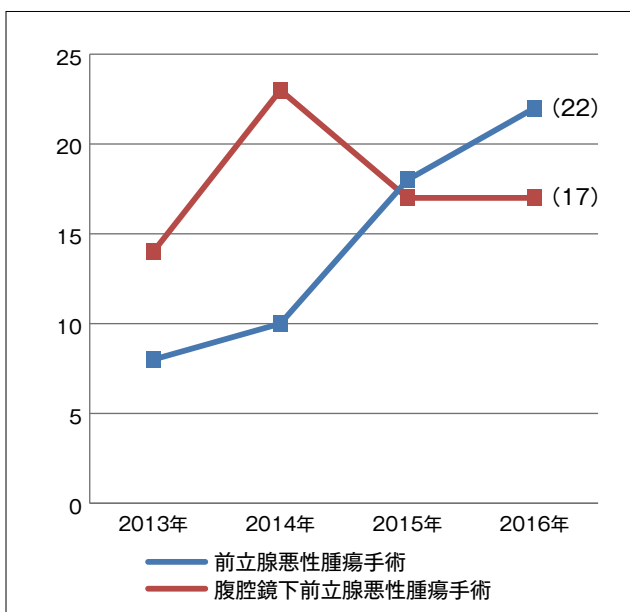
② 2016年症例治療前ステージ別割合



③ 前立腺生検件数



④ 治療件数（重複含む）



2

院内がん登録 2016 年症例報告



【登録・集計対象について】

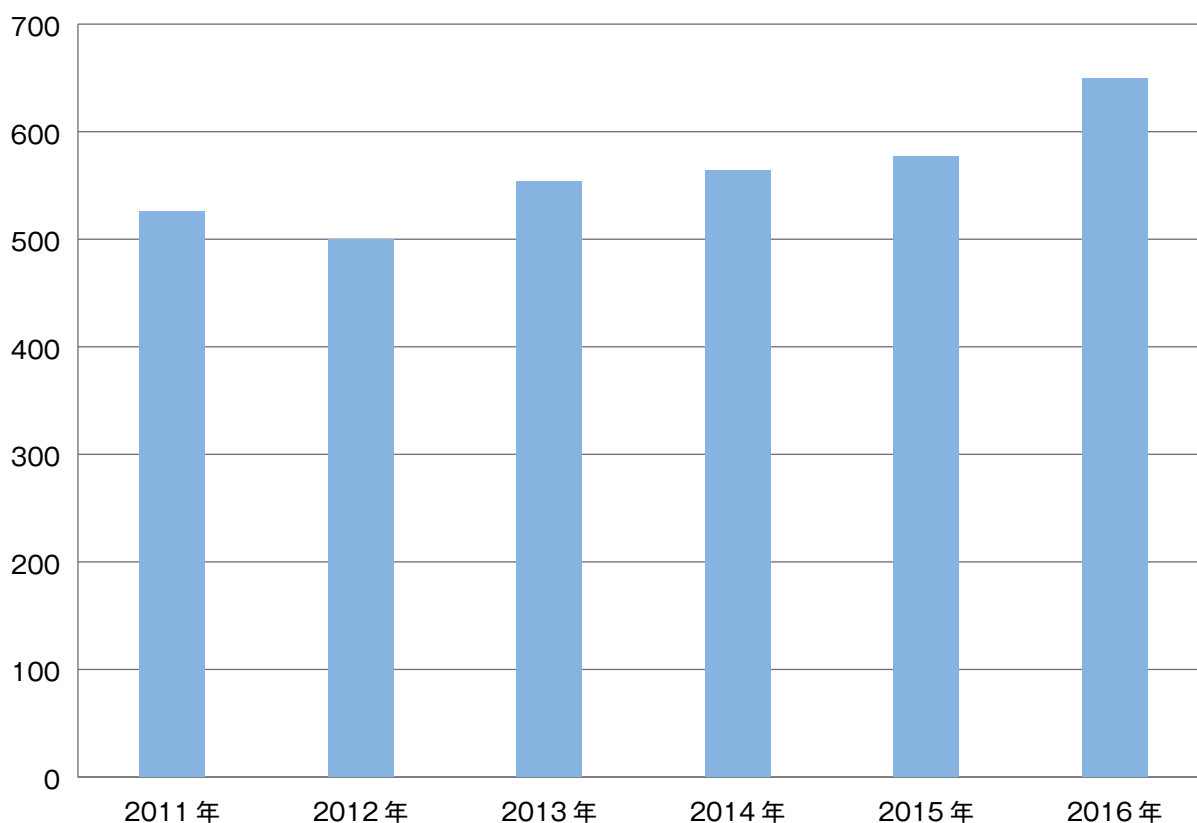
大分医療センターでは、2011年10月より大分県がん診療連携協力病院の指定を受け、2011年症例から院内がん登録を実施しています。院内がん登録の情報は、2016年より開始された全国がん登録にも利用されています。

院内がん登録では、がんの診断内容、治療内容、予後に関する情報を登録しています。院内がん登録の適切な登録により、当院における受療状況、治療内容、予後情報などのがん診療を把握することができ、がん診療の質の向上に役立っています。

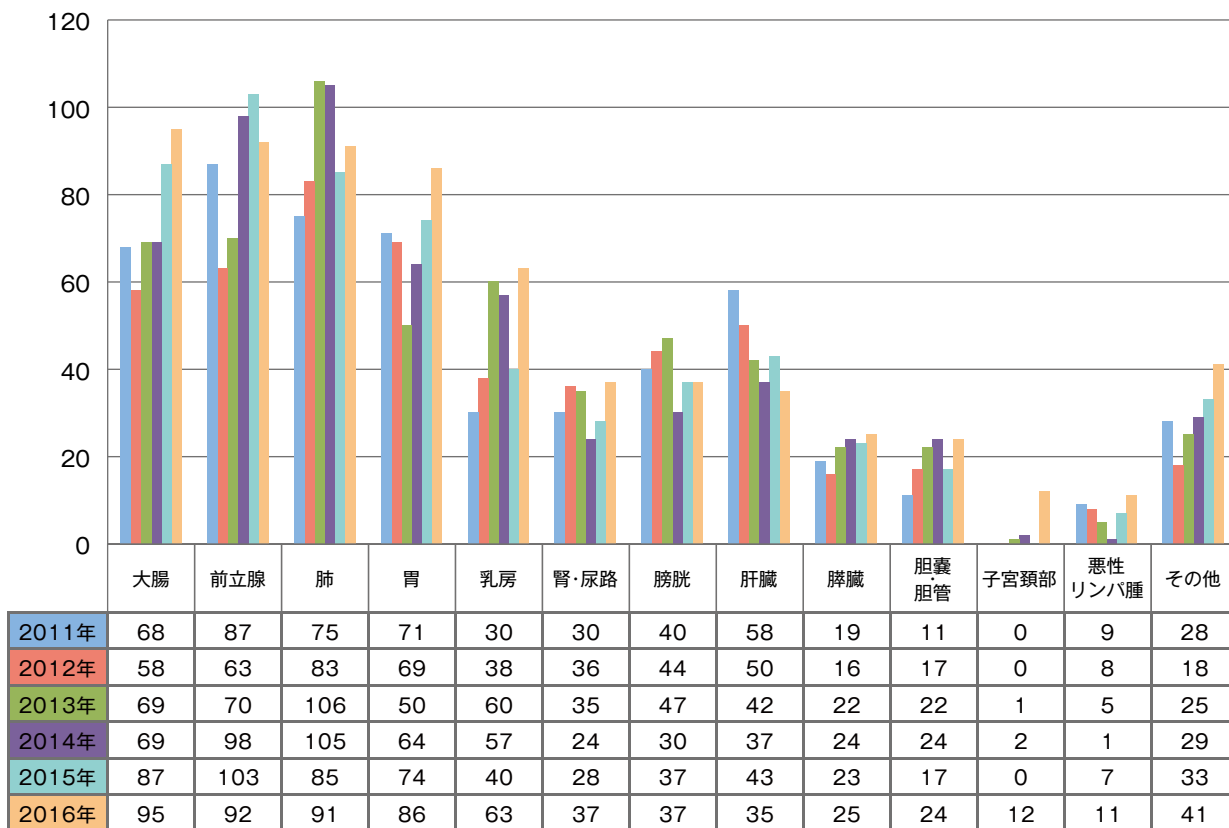
登録・集計対象は、当院でがんの診断・治療を受けた全ての患者さんを入院・外来問わず対象としています。そのため、積極的な治療を受けなかった患者さんやがんの診断のみで他院紹介となった患者さん、他院で治療後に受診した患者さんも含まれています。

なお、2011年から2015年症例までの院内がん登録は、厚生労働省健康局総務課長が定めた「標準登録様式」で登録を行い、2016年症例からは「がん登録等の推進に関する法律」に基づき登録を行っています。

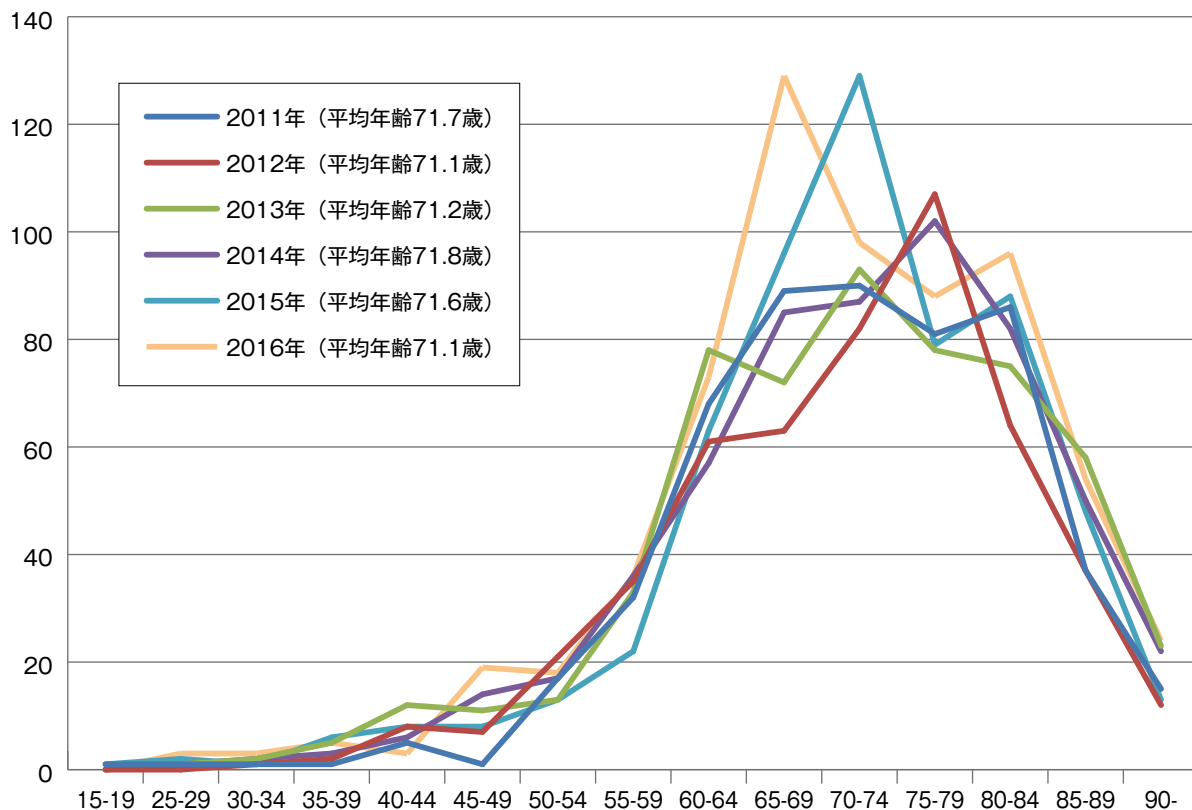
① 院内がん登録 登録件数



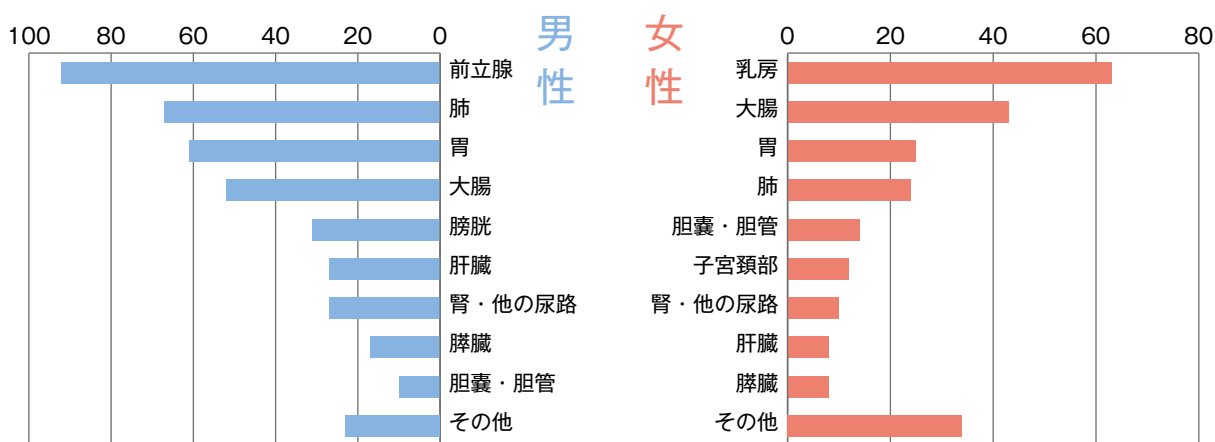
② 部位別件数



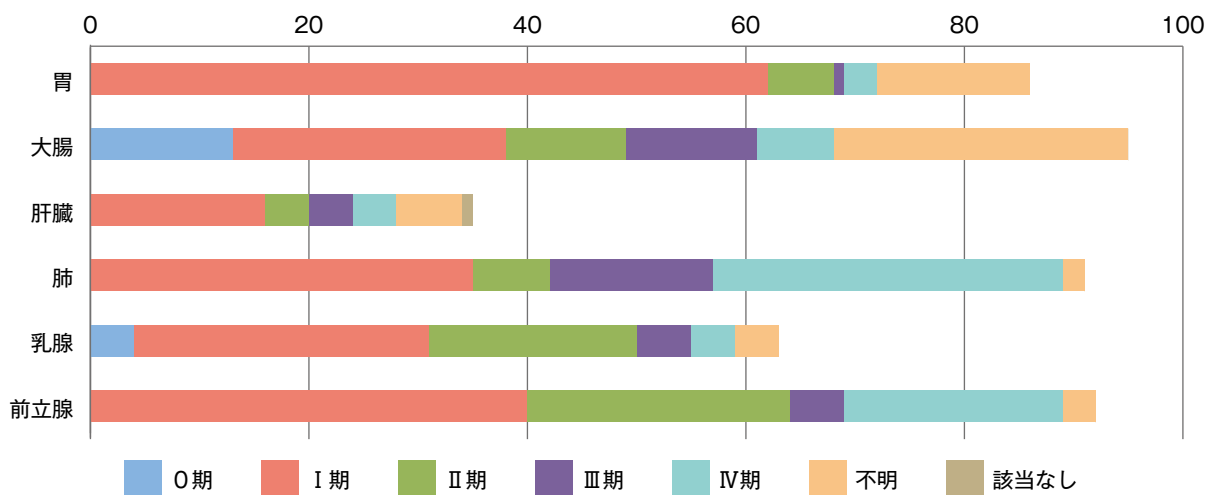
③ 年齢階層別件数



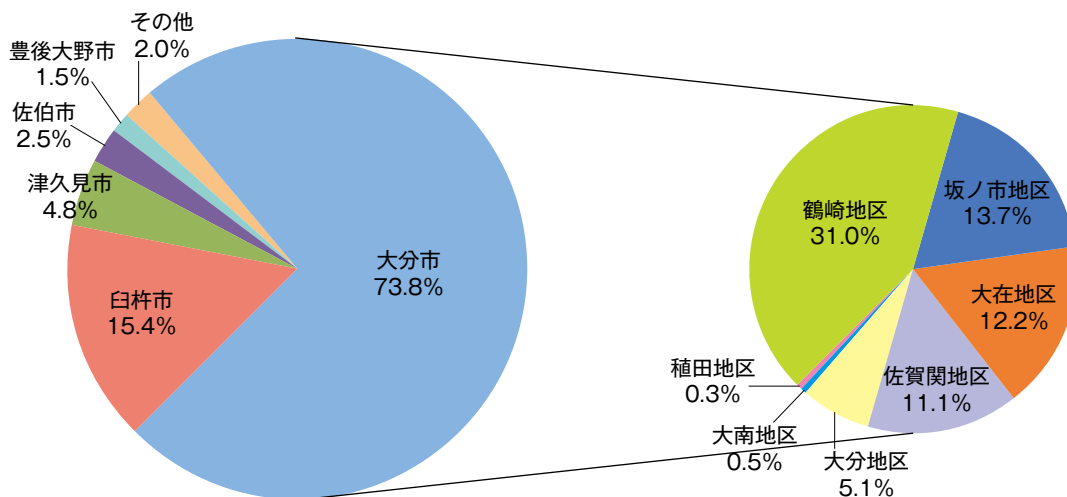
④ 性別件数



⑤ 主要5部位 + 前立腺 治療前ステージ別件数



⑥ 診断時住所



3

部門別活動報告



① 放射線治療部門

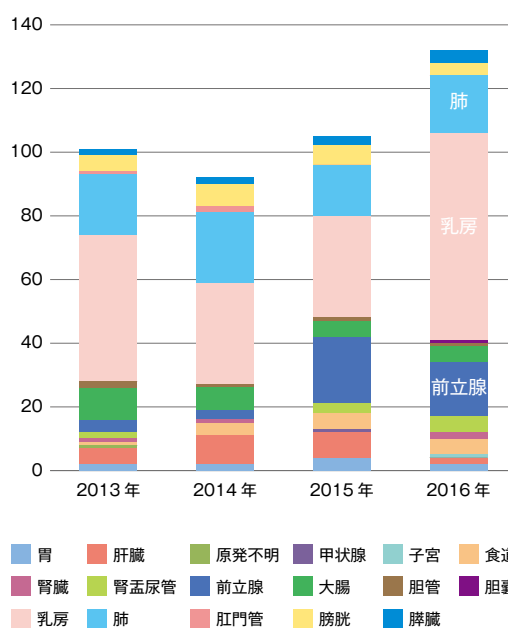
放射線治療（外照射）

放射線治療はがん治療の三本柱のひとつです。放射線を直接がん細胞に照射することで、がん細胞を死滅させます。放射線治療は手術療法・薬物療法などと併用されることが多いです。切除範囲を縮小したり、再発を防ぐために手術療法の前後に行われたり、抗がん剤に耐性を持ち始めたがん放射線照射が追加されたりします。また、鎮痛剤の効きの悪い骨の転移の痛みをとったり、神経を圧迫しているがんを縮小させて痛みや麻痺を軽減したりするのに用います。がんの種類によるのですが、形態や機能が温存することを目的として、放射線治療が単独で選択されることもあります。

毎週火曜日に放射線治療計画を行っています。主治医の先生からご依頼の患者さんの放射線治療の適応を判断し、十分な説明の上、CT画像をもとに照射範囲・回数・強さなどを計画していきます。治療は通常毎日午後に行います。また、火曜日ごとに、検査データなどを元に、副作用の有無などのお話を聞かせていただいています。

体力・病態によっては、外来通院でも放射線治療は可能です。ご紹介いただく際には、地域医療連携室までお電話をいただければ幸いです。

放射線療法（外照射） 原発部位別件数

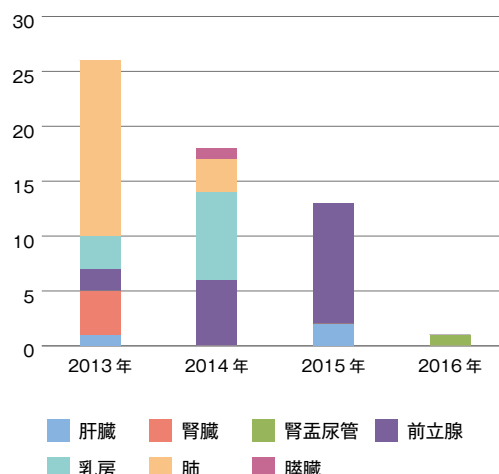


内照射療法（RI内用療法）

多発する骨転移に対して、鎮痛・増大抑制を目的として内用療法を行います。治療効果のあるRI（ラジオアイソトープ）を注射で体内に投与すると、血流によって全身に広がり、骨病変に定着します。鎮痛剤が効きにくい骨転移の痛みや、多発するため外照射療法を行いにくい場合に大変効果があります。平成22年8月よりメタストロン（塩化ストロンチウム-89）、平成29年4月よりゾーフイゴ（ラジウム-223）が採用されました。軽度の骨髄抑制が出現することもありますので、定期的な診察をさせていただいています。

ご紹介いただく際には、放射線科あるいは地域医療連携室へご連絡をお願いします。

内照射療法（RI内用療法） 原発部位別件数



治療装置

リニアアクセラレーター（放射線治療装置）

当院では全身・各部位の外照射治療を行っています。テーブルの上で短時間（10分程度）じっとできる人であれば、外照射治療は実施することができます。高エネルギーのX線や電子線を病変部に当てる治療で、痛みもなく、体力の消耗も少なく、外来通院でもできる優しい治療です。

当院では県内でも有数の最新放射線治療装置を有しており、簡易CTを併用することで、腫瘍の形態に則したミリ単位の正確な放射線治療が実施できます。



多目的CT室（IVR-CT装置）

近年、低侵襲治療（体を傷つけることの少ない治療：IVR）が発達してきました。ここでは、血管をたどって病変部にたどり着き、血液を遮断したり、抗がん剤を流したりするカテーテル治療を行います。この治療の侵襲はカテーテルを挿入するため5mmほど皮膚に切開することだけです。当院の装置は血管造影装置にCT装置を併せ持っており、病変に、薬が正確に流せたかどうかを評価しながら治療を行います。また、体の外から小さな針で病気のサンプルを抽出する「生検」や感染巣から膿を排出する「ドレナージ」の際には、重要臓器を損傷しないように、CT画像と超音波画像を同期させリアルタイムに参照しながら、処置・治療を行います。

この治療室も県内3カ所、大分市内には当院にしかありません。



乳がん画像診断

乳房撮影装置

生活の欧米化に伴い、日本でも、乳がんの罹患率が上昇してきました。乳房撮影装置は乳房の撮影に特化したX線撮影装置です。マンモグラフィーとも呼ばれます。当院の装置は「位相コントラスト」と呼ばれる技術を用い、通常の装置よりもさらに細かいところまで描出できます。

当院では、女性放射線技師を配し、乳房撮影を行っています。ご紹介いただく際には、放射線科あるいは地域医療連携室へご連絡をお願いします。



自動乳房超音波装置（ABUS）

胸にゼリーを塗り、板状のプロブを置くと自動的に撮像する乳房専用超音波装置です。撮像する技師によらず一定の画像が得られます。マンモグラフィーではわからない、高密度乳腺の中に潜む病変を見つけ出します。

当院では、女性技師を配し、ABUSを行っています。ご紹介いただく際には、放射線科あるいは地域医療連携室へご連絡をお願いします。



精密超音波装置

放射線科では他科から依頼で、乳房のみならず、頭頸部・腹部・動脈・静脈などの精密検査を、放射線科医が実施しています。

ご紹介いただく際には、放射線科あるいは地域医療連携室へご連絡をお願いします。

※乳房撮影装置（マンモグラフィー）は女性の放射線技師が行っています。
ABUSについても女性の放射線技師と臨床検査技師の2名以上で検査を行っています。

② 化学療法センター

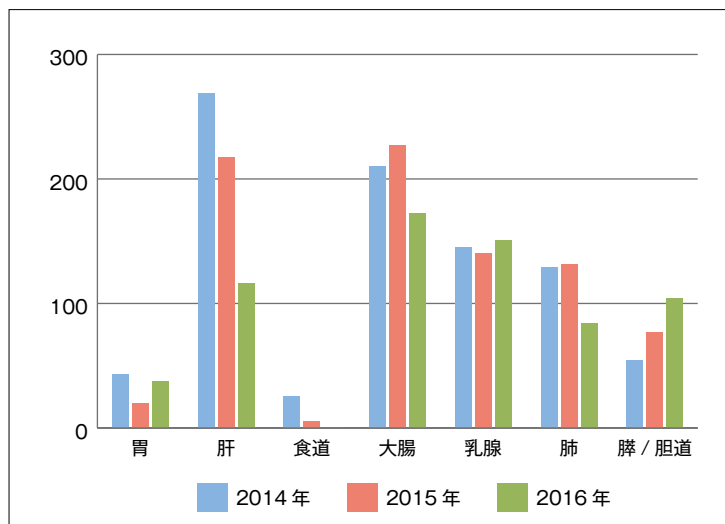
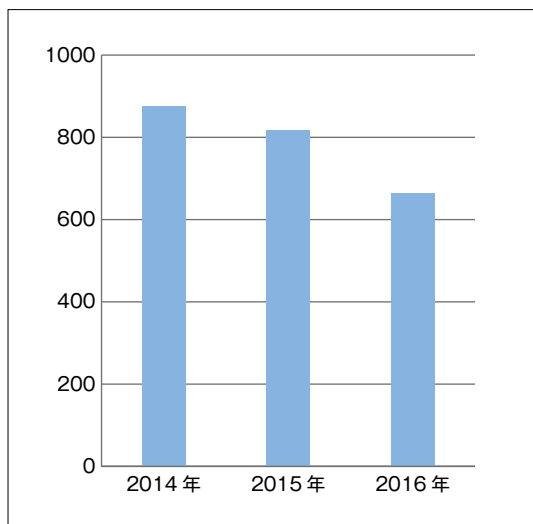
化学療法センターは、通院しながらがん薬物治療を行う患者さんが対象です。

がんと共に生きる患者さんにとって化学療法を継続することは大変です。対話を続けながら患者さんやご家族の希望を見出すことができたかと考え、日々、患者さんと共に治療に向き合い、一緒に考える姿勢を大事にしています。治療センター内では、リクライニングベットや無料テレビ、その他病気に関する情報提供を行う本やリーフレットを置き、患者さんがリラックスして治療が行えるよう工夫しています。

1) スタッフ

化学療法センター長	田原 光一郎
がん化学療法看護認定看護師	高橋 知子
化学療法センター看護師	上野 早百合 (専従)・洞ノ上 愛子
がん薬物療法認定薬剤師	下村 真代

2) 外来化学療法件数 (2014~2016年) 3) がん種別件数 (2016年1月~12月)



治療薬の作用・副作用を踏まえ日々学習し投与の安全を十分に把握し確実な投与管理を行います。

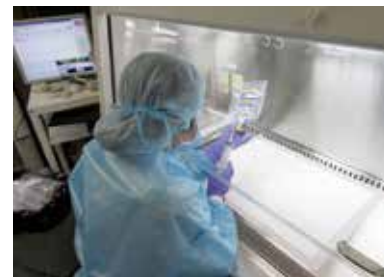
化学療法センタースタッフと共に副作用症状のケアと対処法を考えます。

生活の中での困りごとや治療選択における相談を受け、アドバイスを行います。



③ がん化学療法薬剤部

抗がん剤はほぼ全例薬剤部で安全キャビネットを用いて無菌調製を行っています。また薬の種類によっては閉鎖式システムを使用し、環境への曝露を低減できるよう努めています。医師の処方したレジメンは薬剤師が用量、休薬期間、当日の検査値や体重等をダブルチェックしています。



外来化学療法調製件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2015	93	76	94	65	69	90	79	65	57	92	76	71	927
2016	78	75	75	69	58	61	54	60	51	43	52	47	723

入院化学療法調製件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2015	70	63	49	66	45	52	56	37	51	40	28	34	591
2016	53	47	52	47	38	57	35	48	40	45	50	50	562

当院で使用される注射抗がん剤は全てレジメン審査委員会により審査されたのち登録したものを使用しています。現在167レジメンが登録されており、登録されたレジメンの内容は大分医療センターホームページ内にも公開しており、誰でも参照することが可能です。

登録レジメン数

部位	レジメン数
肺	41
大腸	30
胃	26
乳腺	22
食道、肝胆膵、肛門	20
泌尿器	18
ホルモン剤等	10

2016年レジメン別のべ施行人数（上位）

部位	レジメン名	人数
肝胆膵	肝動注 CDDP+5-FU	14
肝胆膵	GEM	13
乳腺	FEC75	9
肺	CDDP+VP-16	8
大腸	FOLFIRI+ ベバシズマブ	7
肺	ニボルマブ療法	7
胃	CDDP+S-1	6
乳腺	DTX	6
尿路上皮	GC	6
胃	ラムシルマブ+PTX	5
前立腺	DTX+PSL	5
大腸	mFOLFOX6+ ベバシズマブ	5

平成26年度より、がん薬物療法認定薬剤師の資格を有する薬剤師が外来患者さんを対象に①外来化学療法の初回開始時（経口抗がん剤のみの場合も含む）②レジメン変更時③副作用発現時、の3つの機会を対象に文書を用いた説明（薬の特徴、投薬スケジュール、副作用の種類と対応など）を実施しています。また医師・看護師など医療スタッフと協力し、副作用モニタリングを行い、必要に応じて処方提案を行っています。

④ 緩和ケアチーム活動

1) 緩和ケアチームとは

緩和ケアチームは、病気に伴う心と体の痛みを和らげ、希望する生活が送れることを支援するチームです。患者さん・ご家族が抱える問題は様々であるため、チームは多職種で構成されています。

当センターでは、患者さんにご家族に対して主に主治医、看護師により緩和ケアは提供されますが、抱えている問題によって緩和ケアチームが協働し、問題解決に努め希望する生活が送れるよう支援する体制を整えています。チーム構成は以下の通りです。

【当センターの緩和ケアチーム構成】

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| 1. チームリーダー（呼吸器外科医） | 7. リンクナース5名 |
| 2. リンクドクター4名
外科、泌尿器科、消化器内科、呼吸器内科 | 8. 理学療法士 |
| 3. 副看護部長 | 9. 栄養士 |
| 4. 病棟師長 | 10. 薬剤師 |
| 5. 外来副師長（がん化学療法看護 CN） | 11. 医療社会事業専門職 |
| 6. チーム専従看護師（がん性疼痛看護 CN） | 12. 事務職 |



2) チームの活動

(1) 緩和ケアチームによる病棟回診と症例検討会

患者さん・ご家族に最善の治療・ケアが提供できるよう、週1回評価ツールを用いて、患者さん・ご家族の抱える問題や治療・ケア・社会生活に対する希望など情報共有し、体と心の安楽及び希望の実現に向けた治療・ケアを検討します。

(2) 緩和ケアに関する知識・技術の普及

院内外の医療スタッフの緩和ケアの知識・技術の普及を目的としたセミナーの企画や緩和ケアが安全・適正に提供されるようマニュアルの整備を行っています。

①大分東部緩和ケアセミナーの実施状況

研修月	研修テーマ	講師	参加人数		
			院内	院外	合計
4月 (第27回)	1) 「緩和ケアチームの取り組みについて」 2) 「緩和ケアについて」	1) がん性疼痛看護 CN 廣田 紘子 2) 呼吸器外科部長 高祖 英典	47	24	71
10月 (第28回)	1) 「がん診療における超音波内視鏡の役割 ～超音波内視鏡下腹腔神経叢ブロックを含めて～」 2) 「一般病床における緩和ケアの可能性 ～看取りの事例を通して～」	1) 消化器内科部長 福地 聡士 2) MSW 岡江 晃児	64	16	80
11月 (第29回)	「多職種で連携する在宅医療 ～「自分らしく生きるを支える」～」	医療法人 ゆうの森 たんぼぼクリニック 理事長 永井 康徳	44	81	125
3月 (第30回)	1) 「当院におけるリハビリテーションについて」 2) 「老いを緩和する～在宅の立場から～」	1) 理学療法士 溝口 智紀 2) ふうせんかずら センター長 作業療法士 利光 佳子	24	16	40

②緩和ケア研修会

研修月日	参加人数			
	医師	看護師	薬剤師	合計
2016.7.30～31	17名	3名	2名	22名

3) その他

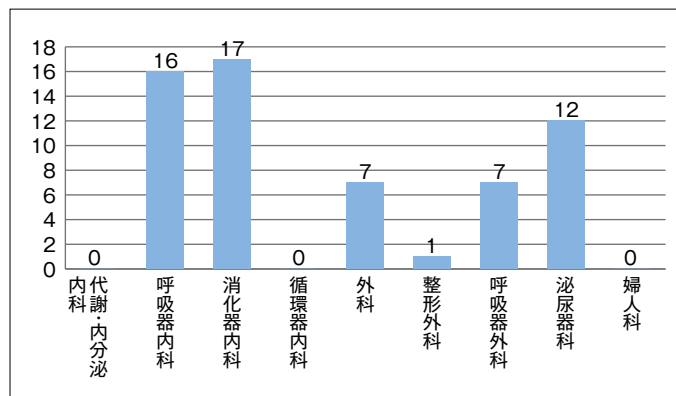
①学会参加

第 21 回日本緩和医療学会学術大会 2016.6.17 ~ 18 京都

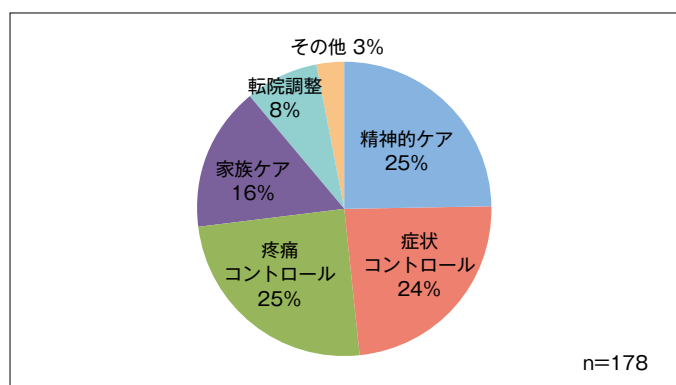
②リレー・フォー・ライフ大分参加 2016.10.8 ~ 9

4) 緩和ケアチーム介入状況

【2016 年度 診療科別介入患者数 (総数 60 件)】



【2016 年度 緩和ケアチーム依頼理由 (重複あり)】



依頼理由	件数
症状コントロール	43
精神的ケア	43
疼痛コントロール	44
家族ケア	29
転院調整	14
その他	5

5) がん患者指導管理料

平成 26 年よりがん患者さんとそのご家族に対する治療・ケアの充実を目的に、がんと診断され継続的な支援を必要とする患者・家族に対して、専門的な知識・技術をもった医療スタッフ（がん化学療法看護 CN、がん放射線療法看護 CN、がん性疼痛看護 CN、がん薬物療法認定薬剤師）が迅速に介入し、最善のチーム医療が提供できるよう体制を整えています。

【2016 年度 がん患者指導管理料加算算定件数】

	指導料Ⅰ	指導料Ⅱ	指導料Ⅲ
件数	64	158	181

⑤ がん患者リハビリテーション

当院では5大癌（胃・肺・肝臓・膵臓・乳がん）を中心とした治療を積極的に取り組んでおります。リハビリテーションにおいては周術期リハビリ、化学療法・放射線治療中のリハビリ、緩和リハビリ等、患者さんの治療・要望に合わせたリハビリテーションを展開しています。

周術期リハビリテーション

理学療法

術前より呼吸訓練や筋力訓練を実施し、術後は早期離床を図ることにより術後合併症の予防に取り組んでいます。

作業療法

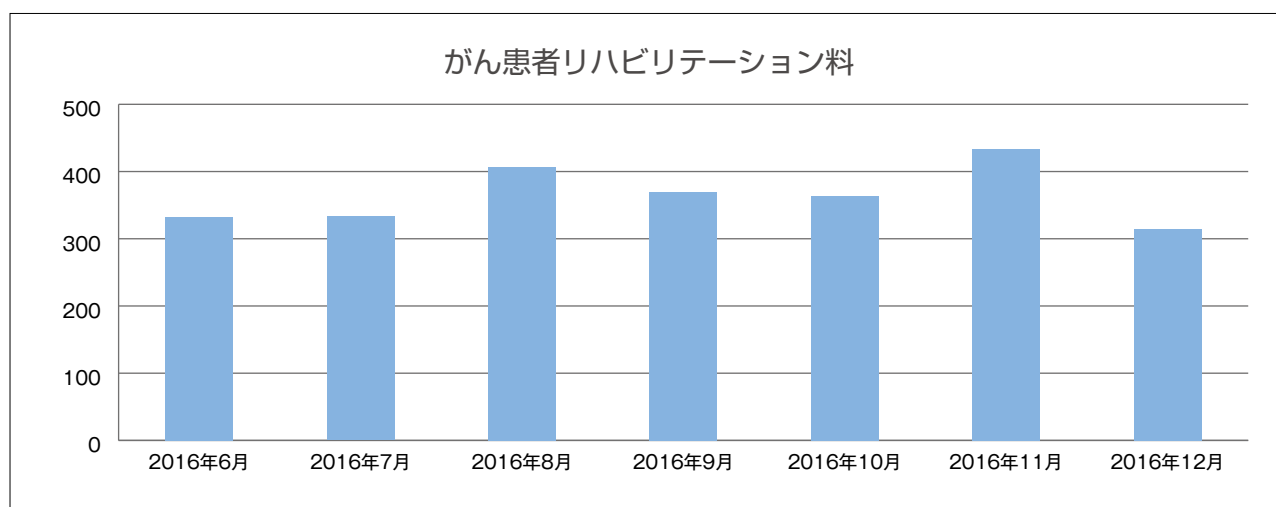
術後安定した時期から ADL 訓練を取り入れ在宅復帰に不安がないよう支援しています。

化学療法・放射線治療中のリハビリテーション

抗がん剤や放射線治療中は倦怠感の出現や体力低下等を来します。適切で適度な運動を行うことでこれらの副作用の軽減が期待できます。当院では治療開始早期からリハビリを取り入れADL、QOL維持に努めています。

緩和リハビリテーション

当院の緩和ケアチームと連携し痛みや呼吸困難感に対して緩和的リハビリテーションを提供しています。



がん患者リハビリテーション研修者（2018年1月現在）

職種	氏名
医師	穴井 秀明
医師	椛島 章
看護師	加来 美里
理学療法士	梶原 秀明
理学療法士	溝口 智紀
理学療法士	山下 真由子
理学療法士	今村 健二
作業療法士	貞方 真也

⑥ がん相談支援センター、がんサロン、がん川柳

がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がん専門相談としての研修を受けたスタッフ（看護師、医療ソーシャルワーカー）が、信頼出来る情報に基づいてがん治療の療養生活全般の相談をお受けしております。またがんサロンやがん川柳等の活動を通して、がん患者さんのケアやがん啓発を行っています。

相談業務

早期発見などに関する一般的な情報の提供、セカンドオピニオンについて、がん患者さんの療養上の相談、がん患者支援団体の情報の提供

その他業務

がんサロンの運営、がん川柳等の啓発活動、大分県がん相談支援センター情報交換会に参加。

がんサロン

がんサロンは、がん患者さんやそのご家族など、同じ立場の人達が集い、気軽に語らうための交流の場として開催しています。

開催日	テーマ	講師	参加人数
平成 28 年 1 月 19 日 (第 24 回)	メイクセラピーについて ～生き生きした笑顔を～	一般社団法人ビタミンメイク セラピー協会代表 葉月えみ	9 名
平成 28 年 3 月 8 日 (第 25 回)	肺がんについて	大分医療センター 呼吸器外科 高祖英典	12 名
平成 28 年 5 月 10 日 (第 26 回)	笑いヨガ講座	Loughter Yoga International University 大野ミチル	7 名
平成 28 年 7 月 12 日 (第 27 回)	がんの治療費について ～経済的負担を減らす制度の紹介～	大分医療センター 医療ソーシャルワーカー 岡江晃児	14 名
平成 28 年 9 月 13 日 (第 28 回)	がんにおけるリハビリテーション について	大分医療センター 理学療法士 溝口智紀	15 名
平成 28 年 11 月 15 日 (第 29 回)	サバイバーさんよりがん体験談		18 名

がん川柳

がん川柳は、がん患者さんやがん患者さんを支えている家族・知人・支援者が、がんに関わるエピソードや日頃の思いを川柳にのせて、感情表出を行い心のケアを行うことやがん川柳の思いを地域・社会へ発信し、がん患者さん等の思いを共有することを目的に開催しています。

○平成 28 年 7 月 1 日 がん川柳冊子発刊

「第 2 回 がん川柳五・七・五～がん患者の思いを川柳にのせて～」

※全国から 71 作品が集まる。

○がんチャリティーイベント（リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分 2016）に参加し、当院企画テントとして展示や配布。



第2回 がん川柳五・七・五

⑦ 市民公開講座

第4回大分医療センター市民セミナー

主催：大分医療センター 共催：一般社団法人 大分東医師会

日時：平成28年5月28日（土）14時～16時

会場：大分医療センター地域医療連携センター大会議室

テーマ：自分の生活習慣を見直そう！

講演：座長 統括診療部長 奈須伸吉

1. 喫煙による肺の病気～肺がん・COPD・喘息など～

呼吸器内科部長 一宮 朋来

2. 緩和ケアのおはなし～事例を通して～

がん性疼痛看護認定看護師 廣田 絃子

3. 脳卒中について

若林脳神経外科クリニック 若林 礼浩

健康相談、健康チェック



4

当院で治療を行っているがんの種類



○：対応可 ×：対応不可

		診 療	セカンド オピニオン
頭部・頸部	脳腫瘍	×	×
	脊髄腫瘍	×	×
	目のがん	×	×
	口腔がん・咽頭がん・鼻のがん	×	×
	喉頭がん	×	×
	甲状腺がん	×	×
消化器がん	食道がん	○	○
	胃がん	○	○
	十二指腸・小腸がん	○	○
	大腸がん	○	○
	GIST	○	○
肝臓 / 胆道 / 膵臓	肝がん	○	○
	胆管がん・胆のうがん	○	○
	膵がん	○	○
胸部・乳房	肺がん	○	○
	乳がん	○	○
	縦隔腫瘍（胸腺がんなど）	○	○
	中皮腫	○	○
泌尿器	腎がん	○	○
	腎盂がん・尿管がんなど	○	○
	膀胱がん	○	○
	副腎腫瘍	○	○
男性特有のがん	前立腺がん	○	○
	精巣がん	○	○
	その他の男性生殖がん （陰茎がんなど）	○	○
女性特有のがん	子宮頸がん・子宮体がん	×	○
	卵巣がん	×	○
	その他の女性のがん （陰がん・外陰がんなど）	×	○
皮膚 / 骨と軟部腫瘍 / 血液・リンパ	皮膚のがん	×	×
	骨と軟部腫瘍（筋肉や脂肪など）のがん	×	×
	血液・リンパのがん	×	×
その他	後腹膜・腹膜腫瘍	○	○
	性腺外胚細胞腫瘍	×	×
	原発不明がん	×	×
小児	小児脳腫瘍	×	×
	小児の目のがん	×	×
	小児の骨と軟部組織のがん	×	×
	他の小児の固形腫瘍 （神経芽腫など）	×	×
	小児の血液・リンパのがん	×	×

※セカンドオピニオンの申し込み窓口は地域医療連携室（097-593-1112（直通））になります。

詳しくはホームページをご覧ください。

5

がん関連資格取得者（2018年1月現在）



【診療部門】

▼ 外科

氏名	取得資格・認定
院長 穴井 秀明	日本外科学会外科指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会消化器外科指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本乳癌学会認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医
部長（肝胆膵） 田原 光一郎	日本外科学会外科指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
部長（消化管） （臨床研究部長） 梶島 章	日本外科学会外科指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器外科指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医長 梅田 健二	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医長 河野 浩幸	日本外科学会外科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本食道学会食道科認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

▼ 呼吸器内科

氏名	取得資格・認定
部長 一宮 朋来	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医
医長 中野 哲治	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医
医師 吉岡 大介	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

▼ 消化器内科

氏名	取得資格・認定
名誉院長 室 豊吉	日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医
第一部長 新関 修	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医
第二部長 山下 勉	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医
医長 豊田 亮	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
医師 大塚 雄一郎	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医

▼ 呼吸器外科

氏名	取得資格・認定
部長 高祖 英典	呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 日本外科学会認定外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

▼ 泌尿器科

氏名	取得資格・認定
副院長 奈須 伸吉	日本泌尿器科学会泌尿器科指導医・専門医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
医長 羽田 真郎	日本泌尿器科学会泌尿器科指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師 甲斐 友喜	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医
非常勤医師 甲斐 博宜	日本内科学会認定医

▼ 婦人科

氏名	取得資格・認定
部長 岡田 さおり	日本産婦人科学会産婦人科専門医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医 日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医 乳腺医学会乳房疾患認定医

▼ 放射線科

氏名	取得資格・認定
統括診療部長（産業医） 中村 雄介	日本インターベンショナルラジオロジー学会（IVR）専門医 日本医学放射線学会放射線科診断専門医
非常勤医師 松本 圭司	日本医学放射線学会放射線科治療専門医

【コメディカル】

▼ 放射線部門

氏名	取得資格・認定
出水 健教	放射線治療専門放射線技師 放射線治療品質管理士
浦川 里佳	検診マンモグラフィ認定技師
森 康哲	放射線治療専門放射線技師
出納 麻理菜	検診マンモグラフィ認定技師

▼ 薬剤部

氏名	取得資格・認定
下村 真代	がん薬物療法認定薬剤師

▼ 看護部

氏名	取得資格・認定
高橋 知子	がん化学療法看護認定看護師
廣田 紘子	がん性疼痛看護認定看護師
佐藤 晶子	がん放射線療法認定看護師
岐部 久恵	皮膚排泄ケア認定看護師

▼ 医療情報管理室

氏名	取得資格・認定
中川 博之	院内がん登録実務中級認定者

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター

がん年報 2016年

発行日：2018年2月

大分医療センター

〒870-0263 大分県大分市横田2丁目11番45号
(代表番号)TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
(地域医療連携室)TEL 097-593-1112 FAX 097-528-9651
ホームページ <http://nho-oita.jp/>

Cancer Annual Report 2016 Oita Medical Center

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター

〒870-0263 大分県大分市横田2丁目11番45号
(代表番号) TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
(地域医療連携室) TEL 097-593-1112 FAX 097-528-9651
ホームページ <http://nho-oita.jp/>